

## 平成18年度（2006年度）京都協会指名審判強化研修会

日程：平成18年5月27日（土）

10：00～開講式

10：30～実技

17：45～コート上での講習

平成18年5月28日（日）

10：00～実技

16：50～閉講式

場所：京都府立体育館

### 【開講式】

#### ①開講の挨拶＜岩木審判長＞

2日間自分の持てる力を発揮できるようにゲームにチャレンジしてほしい。

#### ②講師紹介

＜吉田 正治氏（日本バスケットボール協会）＞

- ・ 京都の高校は高いレベルにある。その試合をジャッジできる幸せと責任をかんじてほしい。
- ・ アドバンテージ・ディアドバンテージを踏まえながら、判定の一貫性を考えて試合の内容に沿ったレフリングをしてほしい。
- ・ 講師やいろいろな人の意見を聞いて、取り入れる部分とそうでない部分については自分で判断できるようになってほしい。

＜蛭子 正幸氏（京都バスケットボール協会）＞

- ・ 自分の置かれている立場、環境をよく把握してほしい。
- ・ 日々の努力はもちろんのこと、1試合1試合を大切に吹くことが必要である。
- ・ 急には変わらないが、来年変わっているよう日々努力してほしい。

#### ③事務連絡

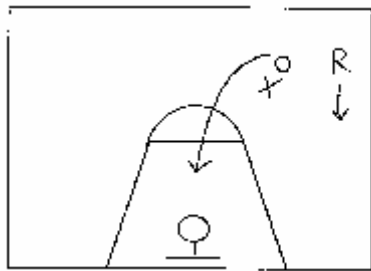
【コート上での講習】

内容：基本的なポジショニングについての講習。詳細は以下の通り。

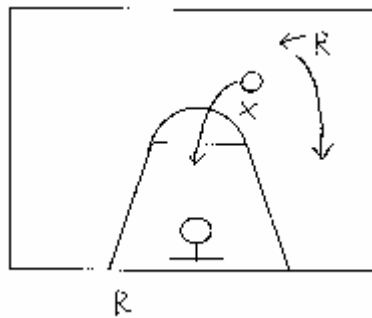
① エリア1でのボール保持

● トレール

- ・ ドリブルでドライブすることが前提
- ・ DF が見える位置 = DF の動きがわかる位置を取る

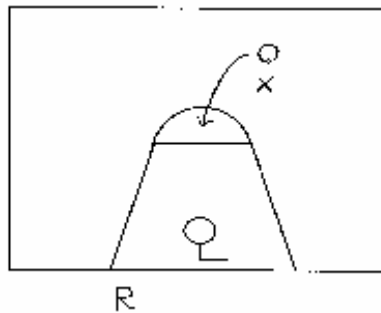


- ・ 相手レフェリーが見えればすぐに縦にペネトレイト

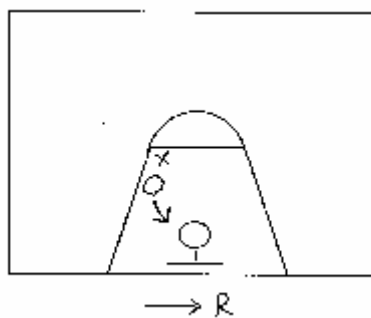


● リード

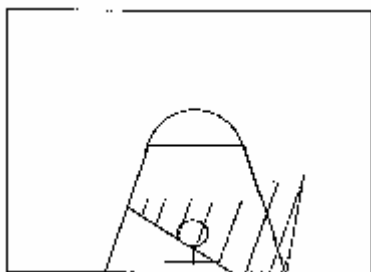
- ・ ボールを視野に入れる
- ・ ドリブルが始まれば下図ポジションを取り、準備する



- OF が DF を抜けば、右へ移動



- 両方のレフェリーから判定しにくい区域。リードが捉える。

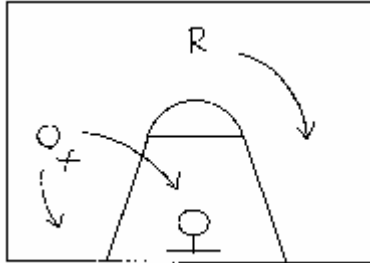


② エリア 2 でのボール保持はエリア 1 と同じ

③ エリア3でのボール保持

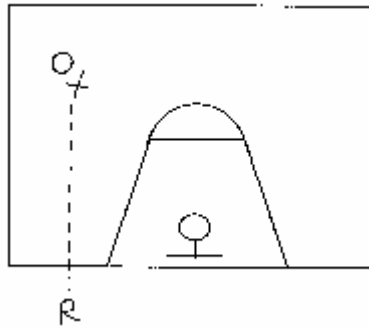
● トレール

- ・ 相手レフェリーが見えればすぐに縦にペネトレイト

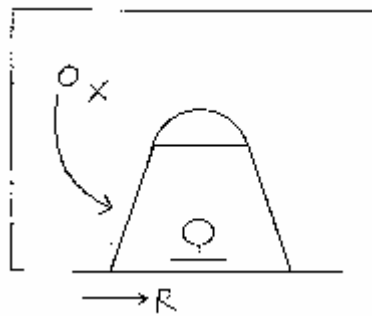


● リード

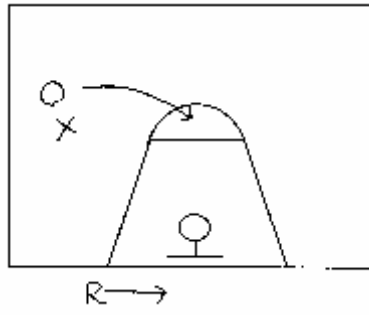
- ・ 初めのポジショニングは DF ラインと同じ位置



- ・ ウィークサイドヘドリブルインが始まれば、リング側へペネトレイト



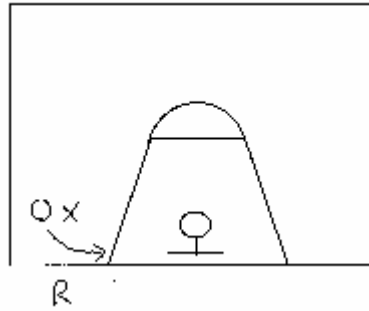
- ・ ストロングサイドヘドリブルインが始まれば、オフENSEを追いかける気持ちでスペースを捉える



④ エリア 4 のボール保持

● リード

- ・ 初めのポジショニングは **DF** ラインと同じ位置
- ・ ベースライン沿いにドリブルが始まっても、基本的には動かない

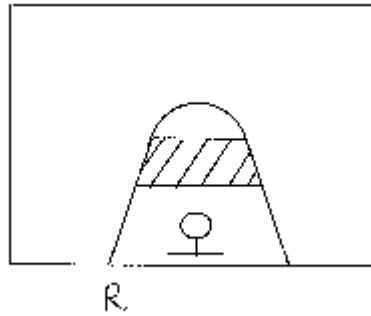


- ・ ストロングサイドへドリブルインはエリア 3 に同じ

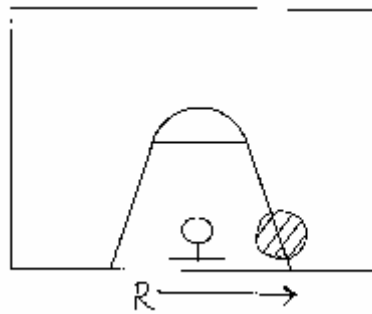
⑤ エリア5でのボール保持

● リード

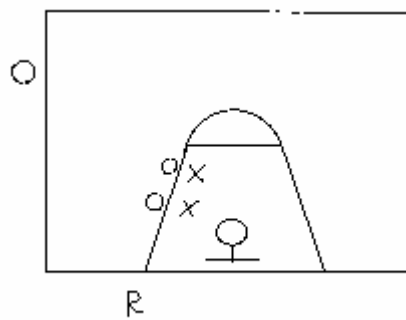
- ・ 網掛け部分にリバウンドが落ちても、動いて見に行かない



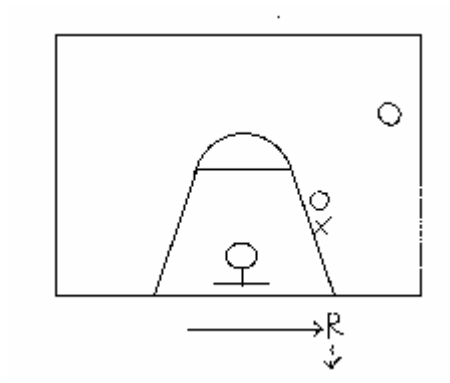
- ・ リングの右側（網掛け部分）にリバウンドが落ちると判断すれば、右へ行く



- ・ 左サイドからのスローインでも、トレールレフェリーと対角にいる必要はない。危ないと思う場所が見られるポジショニングをする



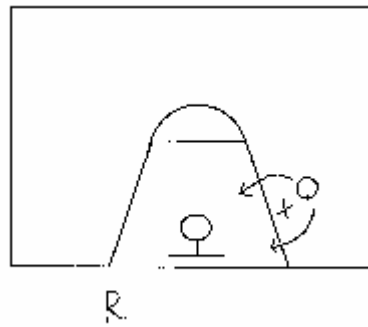
- ・ 右ローポストでのポストアップを全て見に行く必要はない。トレールレフェリーだけでは判定する事が難しい時に見に行く



⑥ エリア 6 でのボール保持

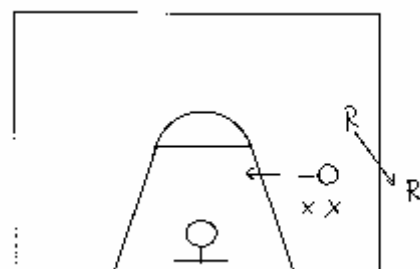
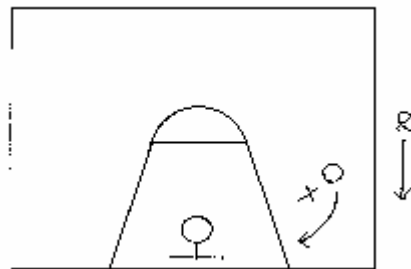
● リード

- ・ 下図ポジションからのドリブルインに対して、OF が DF よりリング側にいれば、少し右へ寄る。DF がリング側であれば、そのままのポジションをとる



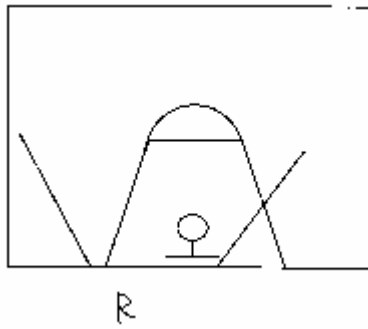
● トレール

- ・ リングへ向かうドリブルインに対してペネトレイトを行う



⑦ その他 (判定をするにあたって)

- ・ チームの特徴をゲーム開始の3～5分位までに把握する。
- ・ プレイヤーがどのような意図でそのプレイを始めたのか考える
- ・ 審判の考え方・見方でプレイヤーを変え、よりいいプレイを引き出す。
- ・ リードレフェリーはステイ→動きに合わせる



## 【閉講式】

### ①講師からの講評

<吉田 正治氏>

- ・ 指摘した部分を咀嚼して、自分の身になるよう取り入れてほしい。
- ・ 1日目のコメントで、2日目のレフリングに変化が現れていると講師としてうれしい。変化している様子がこの講習では随所に見られた。
- ・ 多くの若手が参加しているがうれしい。また、判定についても概ね間違っていない。継続して努力してほしい。

<蛭子 正幸氏>

- ・ 吉田氏のコメントにあったように変化を継続していけるよう、意識を高くもって審判活動を行って欲しい。
- ・ プレイに対する信念をもっと持って欲しい。特に点差が開いたゲーム等ではその信念を1試合通して持ち続けられるようにしてほしい。
- ・ 吉田氏より指導があった基本的な位置取り・ビジョンのとり方が審判としてのもっとも基本であり、協会としても、もう一度その部分から指導をしていけばと考えている。

### ②閉講のあいさつ

以上

【講習会の様子】

